

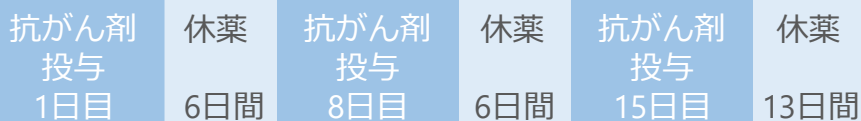
懸濁型パクリタキセル+ゲムシタビン療法を受けられる患者様へ

この療法について

パクリタキセルとゲムシタビンという違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。従来のパクリタキセルは水に溶かしやすくするためにアルコールなどの可溶化剤を使用しておりましたが、懸濁型パクリタキセル（商品名;アブラキサン）は異なる製剤技術により水に溶かすことを可能にした薬です。

投与スケジュール今日（ / ）は サイクル 日目

1日目、8日目、15日目に2種類の抗がん剤を投与します。28日間を一区切り(1コース)とします。



1コース目

2コース目

ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

デキサメタゾン

吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

懸濁型パクリタキセル

(mg)

抗がん剤です。
30分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
15分かけて投与します。

ゲムシタビン

(mg)

抗がん剤です。
30分かけて投与します。
血管痛が生じることがあります。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感
筋肉痛・関節痛

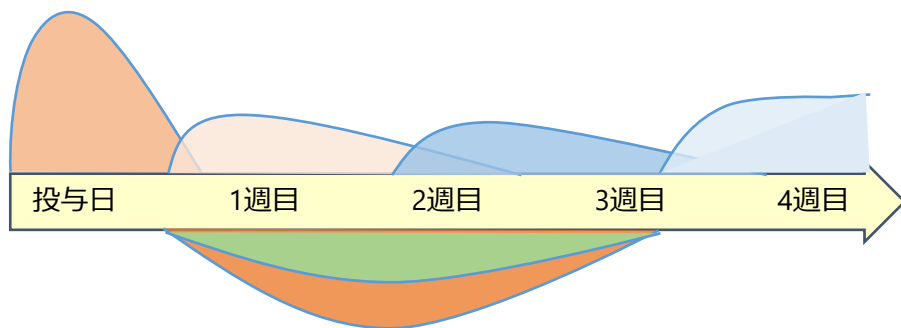
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。痛みがひどい場合、痛み止めを使うことができます。遠慮せずに申し出てください。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛
味覚の変化
末梢神経障害

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり行いましょう。
38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。